

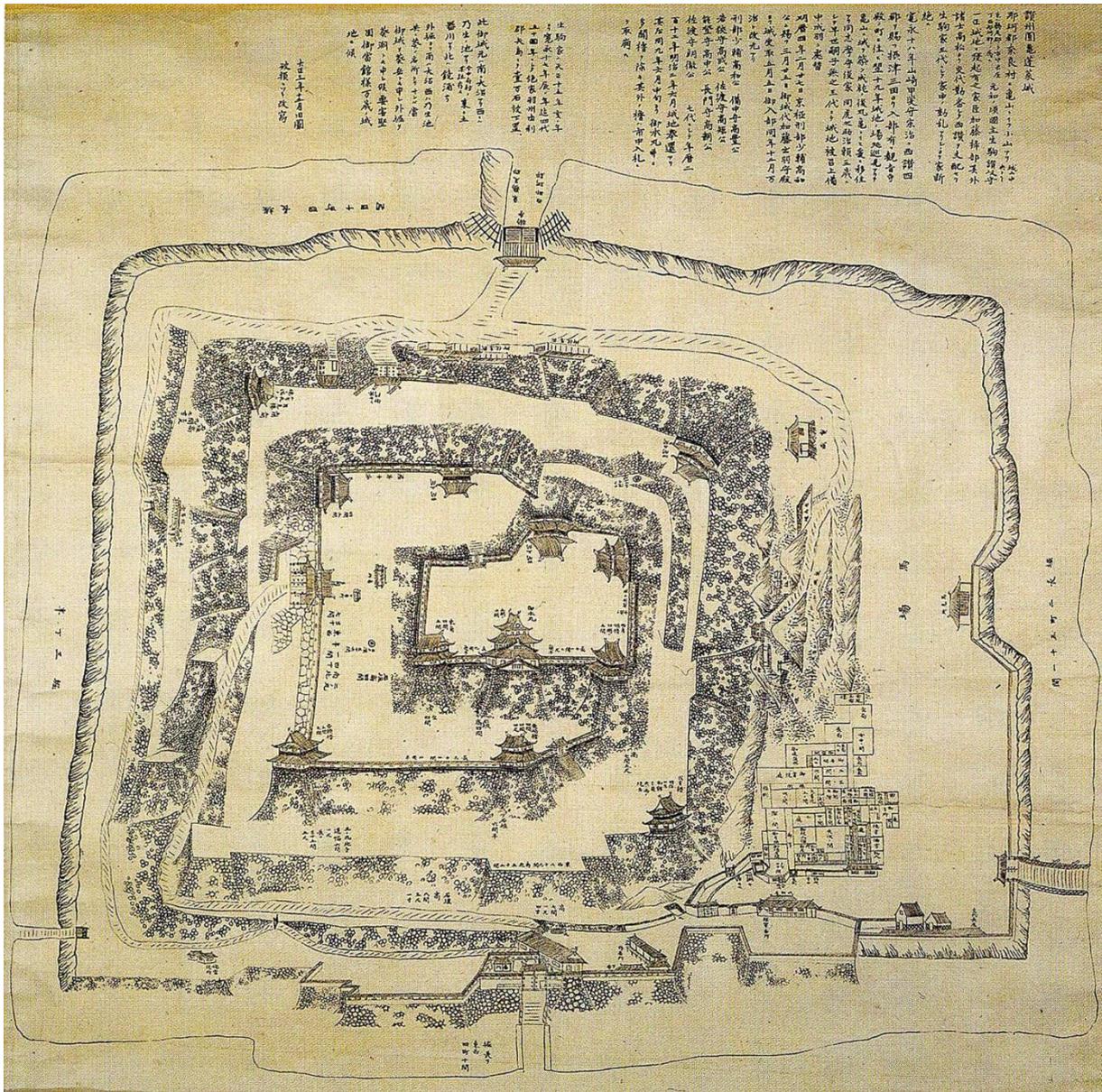
歴史と文化を尊ぶ町 城西

まちづくり計画



天守閣のある町城西

さぬきまるがめほうらいじょうず 讃岐圓亀蓬萊城図



京極時代の絵図(丸亀市立資料館所蔵)

城の平面図に石垣や櫓の立面が描かれている。戌亥櫓のところに「明治二年御館ヨリ飛火ノ為焼失」と記されている。また、城の沿革についての記載があり、終わりのほうに「明治二年六月城地奉遷アリ其後同九年六月中旬ヨリ御本丸並ニ多門櫓ヲ除キ其外ノ櫓ハ市中入札ニテ取崩ス」とある。したがって、明治9年より以降において、復元的に描いた図とみられる。御殿平面図が描かれている唯一の絵図でもある。

なお、沿革文の後に「大正三年十二月旧図破損ニツキ改写」とあり、この図は大正の写しであることがわかる。
(絵図の説明文 原文のまま)

はじめに

私たちの住む城西地区は、丸亀城と深い関わりがあり町の通りのあちらこちらに当時を思い巡らす歴史的遺産が多く残っております。その中でも最も重要で私たちにとって身近な遺産は、丸亀市の顔とも言える「丸亀城」であります。その城郭が築かれた歴史や建造物、記念碑などを探訪いたしますと、古（いにしえ）の人々の喜怒哀楽が偲ばれ、かけがえのないものであり人々にいつまでも慈しまれております。また「こんぴら街道」にちなんだ歴史的建造物がある町並でもあります。

このような城西地区も少子高齢化、核家族化の進展により、ともすれば隣人との繋がりが希薄になっていることは否めません。地域に集い暮らす私たちが積極的に地域力を発揮し、城西地区を活性化することが肝要と思われれます。そのようなことから地域のコミュニティの果たす役割が大変重要となっております。

「天守閣のある町城西」では城西地区住民の自主性と相互の信頼関係に基づく生活共同体として、共に仲良く健康で文化的自主活動を目指して、心ふれあう住みよいまちづくりを推進することを目的に各種事業に取り組んでおります。そのような事から、各種の活動を推進するために、コミュニティ内に各部会を置き文化の薫る町にふさわしく、より良いまちづくりを目指し、多くの方々と協力しながら取り組んでおります。

また、平成7年1月の阪神・淡路大震災や平成23年3月の東日本大震災は記憶に新しいところですが、近い将来発生が予想される「巨大地震」や「大型台風」による災害を想定し、「自分の安全(命)は自分で守る」を念頭に、地域の皆さんが日頃から高い危機意識を持ち住民主導による防災・減災・避難策を考え、現実を意識した訓練を実施しております。今後もコミュニティ全体で継続し、積極的に取り組んで参りたいと考えております。

このような状況の中、ここに「歴史と文化を尊ぶ町城西」のまちづくり計画を策定し、従来からの事業を継続できるところは継続し、見直すべき事業は改善し、一人でも多くの皆さんが笑顔で集い協力しながら、コミュニティ活動が活発になりますよう取り組んでまいります。このような活動は、地域住民の皆様のご理解とご協力が不可欠ですので今後ともよろしくお願い申し上げます。

平成27年12月

天守閣のある町城西
会長 岡田 宣明

目 次

「歴史と文化を尊ぶ町城西」まちづくり計画

第1章 城西地区の概要

1. 沿革	1
2. 人口・世帯数の推移	2
3. 産業の構成	3
4. 公共施設・公的施設	4
5. 城西地区の旧町名の由来	5～7
6. 城西地区マップ	8
7. コミュニティ組織とその活動	9

第2章 まちづくり計画

1. まちづくりの目指すもの	10～11
～目指す城西地区の将来像～	
2. 計画期間	11
3. 各部会のまちづくり実行計画	
【総務部会】 地域住民とのふれあいと活性化をめざして	12～13
【福祉部会】 誰もが安心して暮らせるまちづくり	14～15
【保健部会】 健やかな心と体でいきいき生活を	16～17
【文化部会】 地域の人々への情報発信と伝達	18～19
【環境部会】 環境美化運動と交通安全の推進	20～21
【人権部会】 あらゆる差別をなくし地域社会を明るく	22～23
【体育部会】 運動やスポーツで育む豊かな心と元気な身体	24～25
【子ども部会】 子ども達が楽しく、安全に過ごせるまちに向かって	26～27

第3章 計画策定資料

1. 策定までの経過	28
2. 参考文献	28
3. まちづくり計画策定委員会名簿	29

第1章 城西地区の概要

1. 沿革

私たちの住む城西地区は、コミュニティの組織名「天守閣のある町城西」の文字通り、丸亀城に代表される城下町として古くから発展してまいりました。そして丸亀市の中心市街地として商店や宿泊・飲食店・サービス業などの商業地域と閑静な住宅地の住居地域に大別されます。その前者の商業地域は富屋町・浜町・本町・塩飽町・大手町が在り、その他の町については後者の住居地域に属するといえるでしょう。そのような中、明治32年（1899年）に市制を敷き、当時の丸亀市の人口は23,634人であり、そのうち城西地区が占める人口の割合は相当であったと推察できます。

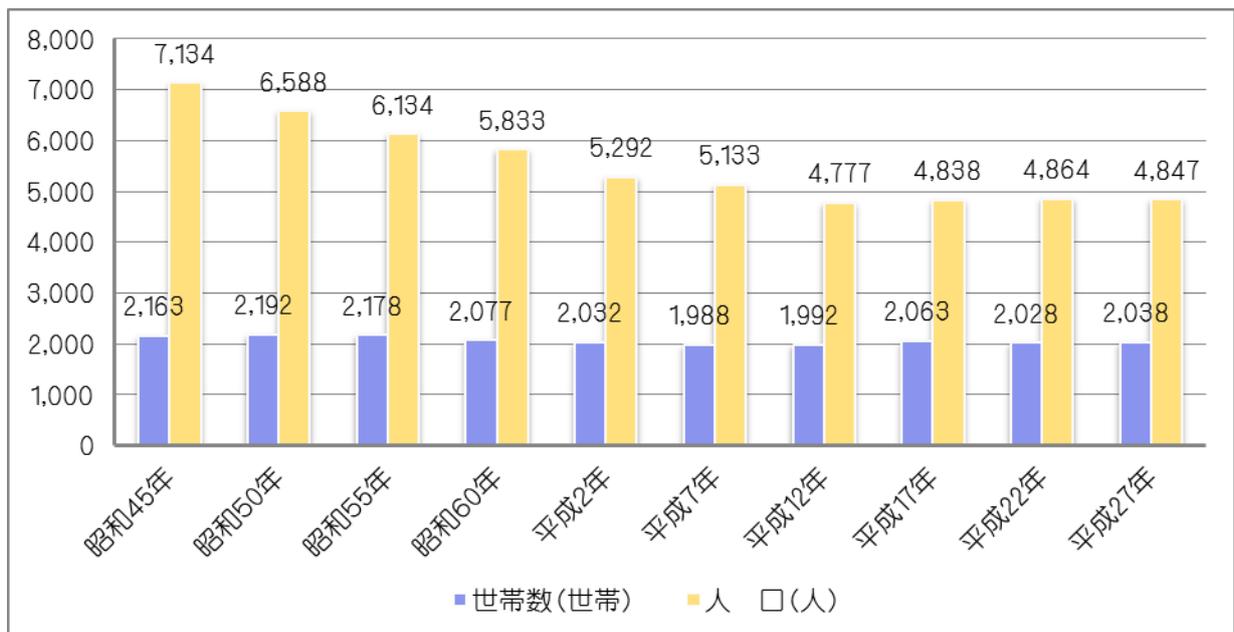
この城西地区に在った丸亀城外濠を昭和20・30年代に埋め立てて、近隣市町よりいち早く4車線化の道路整備により交通の便利性が高まり、またJR丸亀駅に近いことも相まって公共施設の整備や住宅・マンション等の建設が進んでいるのが現状です。しかしながら、近年は市内全域でドーナツ化現象が進んでおり、当城西地区もそのような状況が見受けられます。



4車線化された旧国道(県道33号線・高松普通寺線)

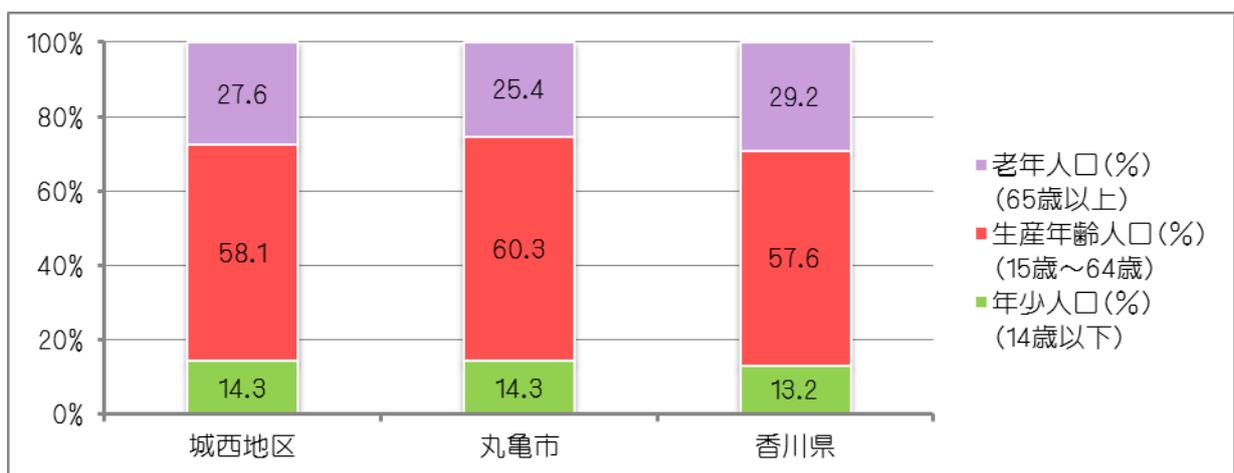
2. 人口・世帯数の推移

【城西地区の人口・世帯数】



5年毎に行われる国勢調査によると、少子高齢化の進展により、世帯数は微減であり横ばい状況にあります。人口については昭和45年と比べると約32%減となっております。このことは少子化と生産年齢層が都会集中型となっていることが要因と思われます。

【年齢別人口と構成比】



平成26年10月1日現在

香川県や丸亀市全体と比較して、老年人口、生産年齢人口、年少人口ともに人口構成比はおおよそ変わりなく、強いて言えば高齢人口の割合が丸亀市全体と比べて2ポイント程度高くなっております。

3. 産業の構成

【産業別事業所数】

(単位:カ所)

	事業所数	農林・漁業	鉱業・砕石業等	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給水道業	情報・通信業	運輸業・郵便業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業・物品賃貸業	学術研究・専門技術サービス業	宿泊・飲食店サービス業	生活関連サービス・娯楽業	教育・学習支援業	医療・福祉	複合サービス業	サービス業(他に分類されないもの)
富屋町	37	-	-	1	-	-	-	-	14	3	-	1	13	1	1	1	-	2
浜町	58	-	-	-	-	-	-	1	22	-	3	-	20	6	6	-	-	-
本町	36	-	-	-	1	-	-	-	17	2	5	1	2	2	1	3	-	2
塩飽町	42	-	-	2	-	-	-	-	7	3	1	6	12	2	2	3	1	3
一番丁	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
六番丁	17	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	2	2	-	5	1	-	1
七番丁	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
八番丁	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
九番丁	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
十番丁	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-	-	2
城南町	7	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	1	1	-	-	-
城西町一丁目	22	-	-	1	1	-	-	-	4	-	2	1	5	3	1	3	-	1
城西町二丁目	40	-	-	2	1	-	-	-	12	6	-	3	2	2	4	5	-	3
中府町一丁目	47	-	-	5	-	-	-	-	15	1	2	-	7	12	1	2	-	2
中府町二丁目	29	-	-	1	1	-	-	1	13	1	3	1	2	4	-	2	-	-
中府町三丁目	27	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	11	4	-	-	-	3
中府町四丁目	13	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	2	1	6	-	-
中府町五丁目	30	-	-	1	3	-	-	-	12	-	1	-	2	3	1	5	-	2
大手町二丁目	19	1	-	1	-	-	-	-	2	2	-	2	1	-	1	1	-	8
大手町三丁目	138	-	-	2	-	1	-	1	13	5	2	2	98	6	-	3	1	4
城西校区計	574	1	-	17	8	1	1	3	153	23	22	22	179	49	25	35	2	33
丸亀市	4,460	14	10	441	342	4	27	85	1,207	98	252	179	602	420	140	295	37	297

(平成26年度版丸亀市統計書・平成24年経済センサス 活動調査)

城西地区の事業所数は、丸亀市全体の13.4%であり、そのうち浜町、富屋町や大手町等では卸売・小売業と宿泊・飲食店等のサービス業が大半を占めており、当地区では製造業の事業数が僅かなことが特筆されます。

4. 公共施設・公的施設

(1) 主な公共施設

丸亀市役所・市民会館・裁判所・検察庁・拘置所・法務局
労働基準監督署・税務署・消防本部・駅前交番
中央保育所・城西小学校・西中学校・丸亀高校
ひまわりセンター・生涯学習センター・城西コミュニティセンター

(2) 主な公的施設

恵城保育園・丸亀郵便局・駅前郵便局
亀山公園・蓮池公園・武道館・外濠緑道公園

(3) 神社・仏閣

荒魂神社・天神社・稻荷神社・会下天満宮・護国神社
弘聖寺・大師坊・妙法寺・妙行寺



丸亀市役所(昭和 39 年竣工)

5. 城西地区の旧町名の由来

私たちの住む城西地区は丸亀城に抱かれ、旧町名はいかにも城下町という意味のある町名がつけられていました。

まずは、“丸亀”という由来、丸亀城の出来るまで、神社・地蔵・こんぴら街道・武家屋敷・旧町名の由来を紹介します。

“丸亀”

「かんてんこうひつ閑田耕筆」(江戸後期の随筆4巻)によると、守典和尚が下津井より舟で丸亀に来ていると五尺ばかりなる物体を見つけ、船頭に聞いたところ「あれは大きい亀が首を出したところで、穏やかな海の時、全身が見える時もある。昔より大小二亀住みて大きい方は二十畳敷程ある。小さい方はそれ程でもない。」このものの住めるがゆえに、ここを丸亀と名付けたり、とある。

“丸亀城”

慶長三年、先封生駒家の時、これを築く。寛永十八年、山崎甲斐守家治朝臣移りてまた修築せしなり。万治元年、京極侯当城に移りたまひしより、高松へ七里、金毘羅へ三里、土佐高地へ三十五里とある。

“会下天満宮”

中府景川町にあり菅原道真公が当地にお寄りになられたおり“好き景色なり”と嘆賞あらせらりしより、後人この地を景川と称す。祭神、菅原道真公、大物主命(大黒様)天穂日命。

“山北八幡宮”

山の北村にあり、はじめは城山(丸亀城)の北にあり、然る後世今の地に遷す。然れども旧名を用いて北の山と称し、地名をも山の北村(山北町)という。

“北向地蔵”

玄要寺の塔頭のひとつ「一枝院」が今の北向地蔵のある一帯である。

“中府口”

現在こんぴら街道として、南条町、城西町、農人町、餌指町に片側石畳が敷かれている。餌指町の南の石畳の最後にある交差点に江戸時代番所があり明治始めまで閉鎖されていた四差路に「金毘羅大権見百四十丁…」とある石燈籠がある。金毘羅参拝のお遍路さんが、あたり一面の田畑の中、大鳥居がみえるので風景を楽しみながら百四十丁(約1.4km)の道を行くのであった。

“一番丁～十番丁”

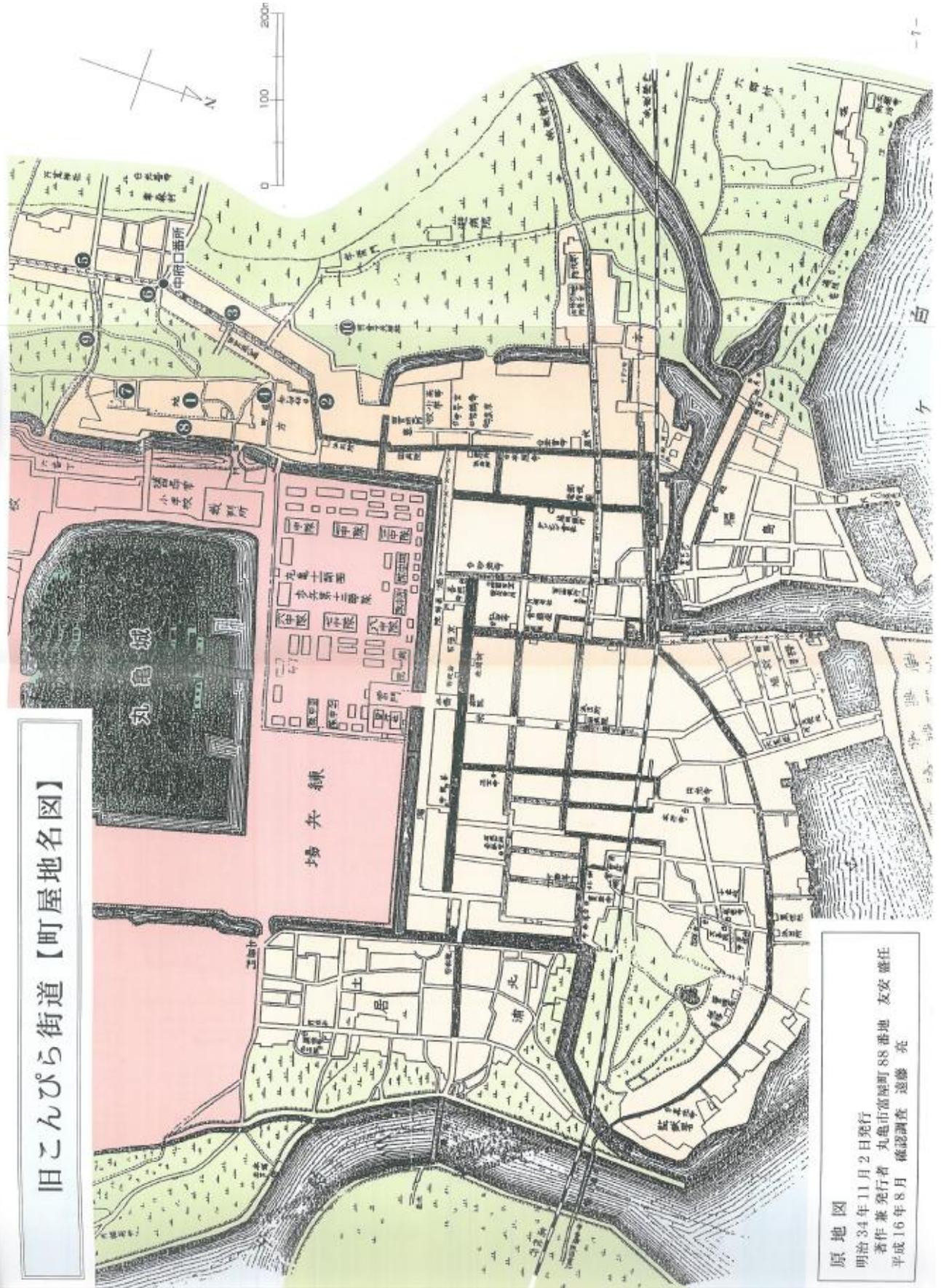
江戸時代藩主が中級武士以上の家臣を住ませた所。外濠より内側で北から一番丁～四番丁(現大手町)。城の東側を五番丁(現城東町二番地)、西側を六番丁(現城西小学校あたり)、南側を七番丁～十番丁とした。

地図 番号	町名	読み	現在の町名と位置	町名の由来・その他
1	上地方	かみじかた	城西町・中府町	現在の南条町以南の一带で、やや小高い土地になっていた。
2	農人町	のうにんまち	中府町五丁目5番 城西町6番の町筋 (旧金毘羅街道)	農作業に必要な道具類、その他の店が並んでいた。(生駒時代)
3	餌指(糺)町	えさしまち	中府町五丁目3・4番 7・8・9番の町筋 (旧金毘羅街道)	鷹の餌を調える役人が住んでいた。また小鳥を捕える「とりもち」やその原料、また小鳥を売る店が集まっていた町ともいわれる。古くは「持筒町」と呼ばれていた。
4	袋町	ふくろまち	中府町五丁目1・4丁番 城西町5・6番付近の裏路	農人町中程に南に入る路地。妙行寺南と東の行き止まり袋状路地。
5	中府町	なかぶちよう	中府町北は三丁目9番から南は二丁目1・2番までの旧金毘羅街道	中府町の北部(四差路)に江戸時代には「番所」があり中府口といわれた。那珂郡の府があったことが地名となったという説がある。南端は左折すると金毘羅道。右へは旧伊予街道。
6	三軒家(屋)	さんげんや	中府町二丁目4・5番と三丁目5・6番付近の町筋 (旧金毘羅街道)	明治四年に建立された大鳥居あたりから南は「三軒家」といわれ、民家が3軒くらいあったといわれる。
7	溜池	うずいけ	中府町三丁目	西中学校付近にあった溜め池の名前が地名。
8	鷹匠町	たかじょうまち	城西町四番25号・32号 (旧外濠に面する)	藩主の鷹狩に従う鷹匠が住んでいた通りで、山崎時代の地図にもある古い町で、二十戸ぐらゐの家数があった。
9	栄町	さかえまち	中府町三丁目1・3・5号 9・10号	明治期までは農道として利用されていた。
10	泉川町	かげがわちよう	中府町五丁目6~8号 10~15号	中府会下天満宮の前一帯の地域をいう。菅原道真が讃岐守であったとき顕正院に参拝し、このあたりの景色を誉めたという伝説がある。風泉と川が当時の歴史が感じられる。

参考文献

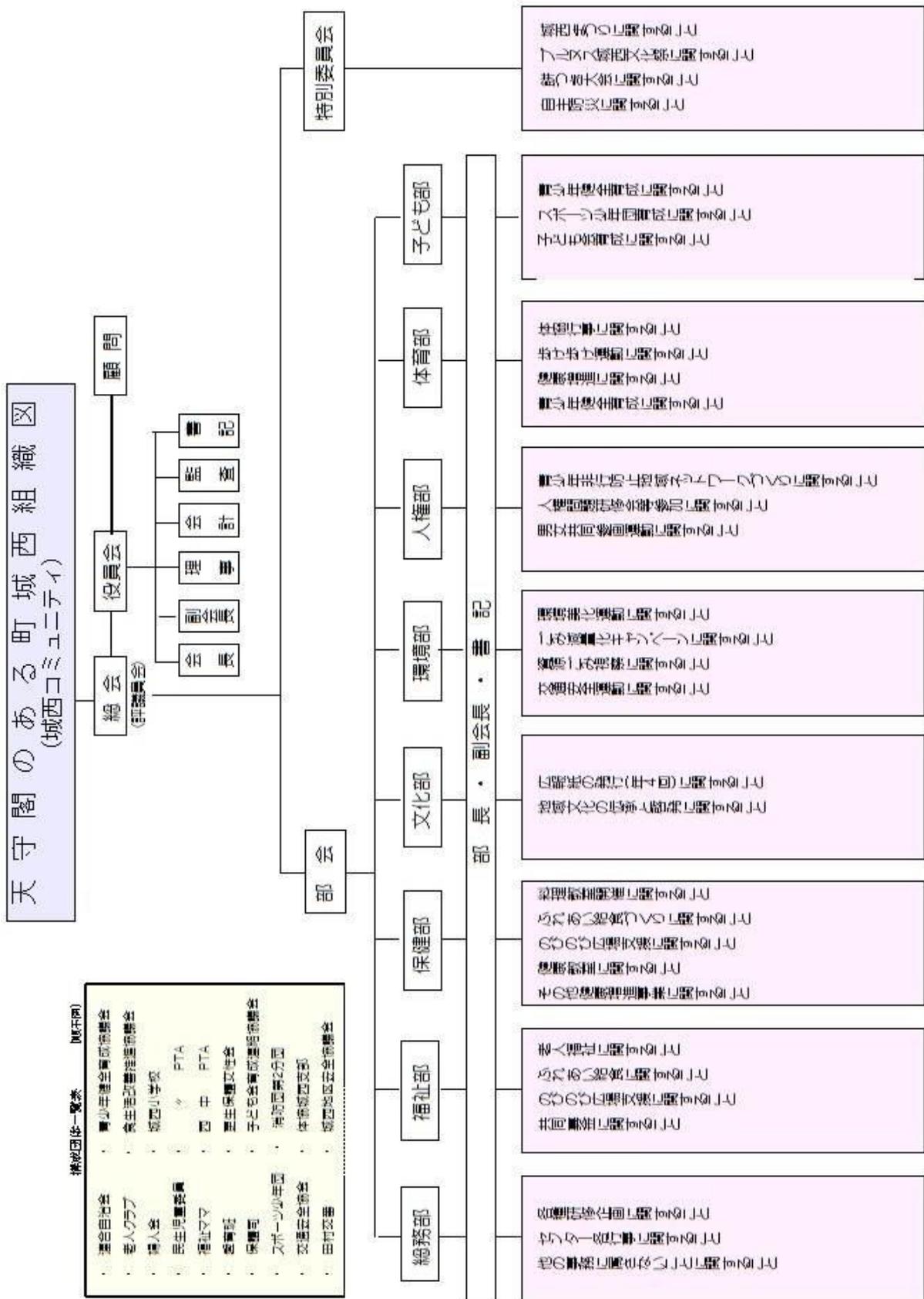
- ・新制丸亀市史Ⅱ 丸亀市
- ・丸亀の歴史散歩 直井武久著
- ・思い出深い古町 小野昭七著
- ・確認調査【平成16年8月】 遠藤亮作成

旧こんぴら街道【町屋地名図】



原地図
 明治34年11月2日発行
 著作兼発行者 丸亀市富原町88番地 友安 健任
 平成16年8月 確認調査 遠藤 亮

7. コミュニティ組織とその活動



第2章 まちづくり計画

1 まちづくりの目指すもの

(1) 将来像「心ふれあう住みよい町」

天守閣のある町城西が目指す将来像は、城西地区の住民（平成27年4月1日現在で、人口：4,869人・世帯数：2,054戸・自治会数：49）が、共に仲良くまた健康で文化的な自主活動、具体的には歴史と文化を尊ぶ活動等を主体的に実践することにより、「心ふれあう住みよいまち」づくりに取り組む。

(2) シンボルテーマ「歴史と文化を^{とうと}尊ぶ町 城西」

(3) まちづくりの基本的な考え方

城西地区のすべての住民が、安心して心豊かに暮らすことができる地域社会を実現するため、自らの意志と責任に基づいてまちづくりに取り組む必要がある。そのため、概ね小学校区を単位として組織されている本コミュニティとして、今後5か年間に取り組むことのできる目標は次のとおりである。

(4) まちづくりの目標

ア 町の歴史と文化を学び伝えるまちづくり

自然の小山を利用して築かれた丸亀城は、標高66m・東西南北の四面に高い石垣をめぐらした威容と美観を備えた築城400年余りで、現存木造天守12城のひとつの名城であり全国的に有名である。

また、金毘羅参りが盛んになったのは江戸中期以降であるが、その中で最も栄えたのが旧こんびら丸亀街道である。今でも、妙法寺（富屋町・蕪村寺）、会下天満宮（中府町）など神社仏閣とともに、人々の信仰が息づいている。城西地区にある多くの史跡の歴史と文化を「いつでも、どこでも、誰とでも」学び、伝えるまちづくりに取り組む。

イ 日常生活が便利で快適なまちづくり

誰もが安心して利用できる丸亀城・亀山公園、小学校・中学校・高校など、教育施設や美術館、スーパー・商店街など商業施設、コミュニティバスの運行や整備された道路網など、地域の特性を生かした便利で快適な日常生活ができるまちづくりに取り組む。

ウ 住み慣れた地域で、みんなが安全・安心して豊かに暮らせるまちづくり

住民、特に子ども達や高齢者が、住み慣れた地域で、みんなが安心・安全に暮らせるように、日頃から住民がお互いに思いやり、共に支え合うまちづくりに取り組む。

また、自分の健康管理に努め、地域で共に生活し、生き生きと心豊かに暮らしていくためのまちづくりに取り組む。

エ みんなが生きがいを持って暮らせるまちづくり

自治会や当コミュニティ等の文化活動やスポーツ・レクリエーション活動に参加して人と人との交流を持ち、また、美術館・図書館・資料館などを利用した講演会・学習活動などに参加して、芸術・文化にふれる機会を持ちながら、みんなが生きがいを持って暮らせるまちづくりに取り組む。

2 計画期間

平成28年4月1日 ～ 平成33年3月31日 の5か年間

3 各部会のまちづくり実行計画

次ページ以降8部会



地域の拠点・城西コミュニティセンター

【総務部会実行計画】

地域住民とのふれあいと 地域の活性化をめざして

総務部会では地域住民が安心して心豊かに暮らすことが出来る地域社会を実現するため、コミュニティの構成団体の協力を得ながら、城西まつり、プルヌス城西文化祭の開催や市長懇談会、防災訓練等を行い地域住民との「ふれあい」「活性化」を促進する。

1 にぎわいとふれあいを目指して



城西まつり

(1) 現 状

ア 城西小学校 PTA との共催で「城西まつり」を毎年秋に行い、多彩な出し物でにぎわいと親子のふれあい、地域住民との交流を図っている。

イ プルヌス城西文化祭、通称「梅まつり」は冬季梅の時期にコミュニティ所属の各クラブの発表会の場として実施し、また地域の方々の作品も数多く出展している。この文化祭で地域のにぎわいと交流が促進している。

ウ 城西小学校3年生の児童が、男の子の勇ましく健やかな成長を願う節句「八朔馬づくり」を見学する行事を実施している。



プルヌス城西文化祭（メレ・アロハ・フラススタジオ）

(2) 今後の取り組み

これまでの行事を発展的に継続し、他の部会との協力を得ながら、より地域のにぎわい創出と地域の方々とのふれあいを深化させる。

2 安心・安全なまちづくりを目指して

(1) 現 状

近い将来発生が予想される「巨大地震」や「大型台風」などの災害を想定した防災訓練を実施し、地域の皆さんが高い危機意識を持ち防災・減災・避難対策を考える事としている。

(2) 今後の取り組み

現状の防災訓練をより効果が得られるように、防災センター見学や各種防災講演会への参加などを通し、現実を意識した訓練を行い危機意識向上に努める。

3 コミュニティの活性化で生きがいを持てるまちづくり

(1) 現状

市長懇談会、チャレンジデーへの参加やバスハイクなど実施し、地域の方々との交流を図る。また、総会や役員会などを通して情報を交換・共有しコミュニティの活性化に取り組み地域の皆さんが生きがいの持てるように努めている。

(2) 今後の取り組み

今までの事業を発展的継続させる中で、より多くの方々が参加・参集できるようにする。また、小学校PTAや構成団体との交流や意見交換会を行い意思疎通し、コミュニティ行事の活性化を図る。

アクションプラン	具体的テーマ	目 標（具体的施策）			
		現 状	28年度	29・30年度	31・32年度
地域住民とのふれあい及び活性化	にぎわいとふれあいを目指して	各種行事の継続	発展的継続	➡	➡
	安心・安全なまちづくり	防災訓練	防災訓練 防災センター見学 防災講演会参加	➡ ➡	➡ ➡
	コミュニティの活性化	各種行事の継続 各種団体との意見交換	発展的継続 1回/年	➡ 数回/年	➡ ➡

【福祉部会実行計画】

誰もが安心して暮らせるまちづくり

地域の方々が、快適で安全に暮らせるまちづくりのために「老人福祉」「児童福祉」「乳幼児福祉」の対策について取り組む。

1 老人福祉について

(1) 現状

ア 城西地区の高齢化率は、27.6%（平成26年10月現在）で、市全体の25.4%と比べるとやや高くコミュニティの行事に参加できない人も多い。

イ 福祉部会では、民生委員を中心に70歳以上の独居老人と80歳以上の老人世帯に年2回手作りの「ちらし寿司」を配布し、年末には70歳以上の独居老人に粗品を配布している。コミュニティの文化祭では、70歳以上の参加者に城西小児童からの愛の手紙とカイロの配布を行っている。

ウ 認知症や障がい者を持つ家族の情報がほとんどなく十分な対応ができていない。



ふれあい給食づくり（バラ寿司）

(2) 今後の取り組み

ア 市の行政や他の組織との協力のもと、高齢者世帯などの状況の把握に務め、効果的な支援を行っていく。

イ 介護コミュニティ事業の一環として、認知症に対しての理解と知識を深めるための研修を重ね、支援に役立てる。

2 児童福祉について

(1) 現状

ア 小学校の先生方やPTAの協力のもと、主任児童委員・愛育班・シニア世代との交流を通して、伝統行事やむかしの遊びを伝承している。

イ 不審者情報や交通事情等、児童を取り巻く環境は厳しいものとなっている。

(2) 今後の取り組みについて

ア 児童とシニア・親世代の参加を含め、三世代交流する中で、児童の豊かな社会性が育つように支援していく。

イ 地域ぐるみで見守り、声かけを行っていく。

3 乳幼児福祉



のびのび広場城西

(1) 現状

乳幼児、妊婦を対象にした「のびのび広場城西」の支援。母子を中心に、20～30人の参加がある。



折り紙教室

(2) 今後の取り組み

- ア 地域の母子に積極的な呼びかけを行い、参加者の増加に務める。
- イ 他の世代や男性の方との交流、意見交換を図る活動を推進する。

アクションプラン	具体的テーマ	目 標（具体的施策）			
		現 状	28年度	29・30年度	31・32年度
誰もが安心して暮らせるまちづくり	老人福祉対策 ・高齢者世帯の支援	声かけ見守り訪問	今後も継続	➡	➡
	・児童との交流	文化祭参加者に城西小児童の愛の手紙を配布	今後も継続	➡	➡
	・認知症や障がい者をもつ家族への支援	情報が少なく対応ができていない	行政や他組織と協力して実態を把握	➡	➡
	・介護コミュニティ事業の推進	対応が不十分	行政や他組織と協力して実態を把握	➡	➡
	児童福祉対策 ・三世代の交流	伝統行事やむかし遊びの伝承	児童の豊かな感性が育つよう支援する	➡	➡
	・地域ぐるみで行う	充分できていない	他部とも連携して見守り、声かけを行っていく	➡	➡
乳幼児福祉対策 ・乳幼児や妊婦等の支援	のびのび広場城西（第1火曜 10:00～11:30） 声かけ・身体計測	妊婦への参加を呼びかける	➡	➡	

【保健部会実行計画】

健やかな心と体でいきいき生活を

自分や家族の健康状態に関心を持ち、いきいきと暮らせるよう地域の人々とのつながりを大切に思いやり、共に支え合い地域ぐるみで健康づくりに取り組む。

1 健康に関心を持ち、必要な健康診断を受け

自分や家族の健康状態を知る

(1) 現状

活動を通して、各種健康診断など受診の呼びかけを行っている。城西まつりやプルヌス城西文化祭などの行事の中で、骨密度・血管老化度測定などを行い、生活習慣病予防等の啓発を行っている。

(2) 今後の取り組み

あらゆる機会を活用して、各種健康診断の受診や健康相談の利用の声かけを継続する。

2 よい生活習慣を身につける

(1) 現状

食生活改善推進員が中心に活動するバランス料理教室は、ほぼ同じメンバーで大半が60代以上。男性、若い世代の参加が少ない。



バランス料理教室

(2) 今後の取り組みについて

ア 子どもや若い世代、男性にも広く参加を呼びかけ、郷土料理の伝承など食育について、さまざまな角度から取り組む。また、ヘルスマイトの人数を増やし育成に努める。

イ 健康づくりや介護予防推進のための健康教室開催や参加の呼びかけを行う。

3 家族や地域の人とのつながりを大切にする

(1) 現状

ア 乳幼児やその家族が安心して子育てできるよう、遊びや育児相談・地域の人々との交流の場である「のびのび広場城西」の開催や「愛育班だより」の配布を通じた声かけ訪問や季節の行事など愛育班活動を行っている。

イ むかし遊びの伝承や季節の行事などを通して、世代間交流を行っている。

(2) 今後の取り組み

- ア 地域内に住む親子や家族に、さまざまな機会を捉え、積極的な声かけを行い、活動の啓発や参加者及び愛育班の会員を増やしていく。
- イ 各種行事の継続。

アクションプラン	具体的テーマ	目 標(具体的施策)			
		現 状	28 年度	29・30 年度	31・32 年度
健やかな心と体でいきいき生活を	健康に関心を持ち、必要な健康診断を受け自分や家族の健康状態を知る。	肺がん・特定健診以外の受診率は市平均より高い 健康相談はほぼ同じ参加者(月1回)	声かけ推進 各種健康診断の受診率及び相談者数の増加	➡ ➡	➡ ➡
	よい生活習慣を身につける ・バランスのとれた食生活の推進 ・健康教室への参加	バランス料理教室の開催(年5回) 生活習慣病・認知症予防などの健康教室の開催	若い世代や男性参加の呼びかけと交流 郷土料理の伝承と声かけ推進	➡ ➡	➡ ➡
	家族や地域の人とのつながりを大切にする。 ・安心して子育てができるまちを目指して ・季節の行事などを通して交流を図る	のびのび広場城西の開催(月1回) 愛育班だよりの配布・声かけ・見守りなどの愛育班活動 各種行事の継続(むかし遊びなど伝統行事の伝承)	声かけ推進 会員増を図る 健康ファミリーウォーキングの開催	➡ ➡ ➡	➡ ➡ ➡



血管老化度測定・落下棒テスト(城西まつり)



むかし遊びの伝承(城西小1年生対象)

【文化部会実行計画】

地域の人々への情報発信と伝達

文化部会では、コミュニティ広報紙「じょうせい」の発行を活動の中心とし、「歴史と文化を尊ぶ町城西」の特色を活かしたまちづくりに役立つ情報とコミュニティ活動の状況など、広報紙及びホームページなどを活用して発信・伝達していく。

1 地域の文化活動と広報紙「じょうせい」の発行

(1) 現 状

地域の情報やコミュニティ活動の様子、また日々の生活に役立つ知恵や方法などを、市役所や警察、学校などから協力を得て記事にしている（年4回発行）。

(2) 今後の取り組み

必要に応じて増刊号の発行を検討する。

紙面の中で、地域の特色ある歴史と文化に関する情報も発信し、地域の方々や次代を担う子ども達に、文化の伝承と啓発を図る。



お城まつり武者行列参加記念号
(平成18年7月1日発行)



広報紙編集委員会

2 ホームページによる情報の発信

(1) 現 状

地域の文化活動やコミュニティ活動のより活性化を図るため、開設を検討している。

(2) 今後の取り組み

内容や方法について他のコミュニティの事例を参考にして、コミュニティ内部での協議・検討を重ね、可能な限り早い時期に開設を予定している。

3 中讃テレビ（CVC）への情報提供

（1）現状

地域の情報をより多くの方々に伝達するために、中讃テレビ（CVC）への情報提供を行っている。

（2）今後の取り組み

行事のようすなど、随時発信していく。

アクションプラン	具体的テーマ	目 標(具体的施策)			
		現 状	28年度	29・30年度	31・32年度
地域の人々への 情報発信と伝達	広報紙「じょうせい」の発行	歴史と文化に関する情報を発信 (年4回)	➡	増刊号の発行予定	➡
	ホームページによる発信	開設に向け検討中	開設・更新	➡	➡
	中讃テレビ(CVC)への情報提供	情報発信	➡	➡	➡



そうめん流し(愛育班)



月見の会



餅つき大会(柳餅づくり)



八朔だんご馬づくり(城西小3年生対象)

【環境部会実行計画】

環境美化運動と交通安全の推進

環境部会は、地域における生活環境全般の保全と美化推進活動を実施するとともに、交通安全対策と啓発活動を実践する。

1 ごみのない美しい町をめざして

(1) 現状

ア ごみの分別が適正か否かの現状視察を定期的
的に実施してきたが、従来より良好になりつ
つも未だ改善が望まれる。

イ 丸亀城や町内の公園において定期的に清掃
活動を行ってるが、空き缶やペットボトル等
の投棄が散見されているのが現状である。



資源ごみ現状視察

(2) 今後の取り組み

ア 環境部員等は、日常における公園等のごみ投棄情報を共有し、看板等の設置や
広報による啓発を継続的に行い、ごみのない町を目指す。

イ 町を美しくする意識を持つことの大切さを訴えるため、プルヌス城西文化祭等
で花の苗を配布し、花いっぱい運動を拡げる。

2 交通安全の推進

(1) 現状

ア 従来から交通量の多い道路では、死亡事故等が多発している。

イ 道路の斜め横断、信号無視等の交通ルールが守れていないことや、夜間におけ
る高齢者が事故に遭遇するケースが後を絶たない。

ウ 子ども達の通学状況を把握し、そして通学路の安全点検及び整備に留意する。

(2) 今後の取り組み

ア 交通事故発生場所と発生原因の情報を共有し、いろいろな会合時に協議すると

ともに、コミュニティ広報紙を通じての啓発、更に幟の設置、反射材の配布等を行い交通事故防止に努める。

イ 城西まつりなどの行事において、丸亀警察署の協力を得て広く事故防止の啓発を行う。

ウ 従来の通学路点検・整備について、今後も注意深く検討を行う。

アクションプラン	具体的テーマ	目 標(具体的施策)			
		現 状	28年度	29・30年度	31・32年度
環境美化運動 と交通安全の 推進	ごみのない美しい町を目指して	<ul style="list-style-type: none"> 違法投棄情報の収集と対策を協議 亀山公園の清掃 花の苗プレゼント 	情報収集と対策の協議 清掃の継続 →	看板の設置 公園等の巡視 →	→ → →
	交通安全の推進	<ul style="list-style-type: none"> 交通ルールが守られていない 交通安全教育の開催 通学路の安全点検 	幟、広報紙等での啓発 → 点検・整備の検討	丸亀警察署と連携し、研修会の開催 → →	→ → →



花の苗プレゼント (プルヌス城西文化祭)



交通安全教室「まなぶちゃん」(城西まつり)



お城の清掃(環境部・老人会合同)

【人権部会実行計画】

あらゆる差別をなくして地域社会を明るく

人権部会では地域の方々が心ふれあい、仲間づくり・絆づくりを実践するため講演会や出前講座などに参加し人権意識の高揚を図っている。

また、男女共同参画の出前講座や講演会に参加し、男女が共に参画しやすいコミュニティづくりを目指す。

1 人権を尊重するまち

(1) 現 状

市の行事とし、薬物撲滅運動や社会を明るくする運動に参加し、同和問題や人権週間の各種講演会に出席し人権意識の高揚を図っている。また、コミュニティ行事に積極的に参加・協力する中で仲間づくりと絆づくりを実践している。

(2) 今後の取り組み

従来 of 行事を発展的継続し、地域社会を明るく出来るよう努める。また、児童の人権に関するポスターを館内に展示し、いじめや差別をなくするよう啓発する。

2 男女共同参画を実践するまち

(1) 現 状

市の男女共同参画セミナーを活用し、出前講座や講演会を通し男女が共に参画しやすいコミュニティ活動を目指している。



詐欺防止の寸劇（男女共同参画セミナー）

(2) 今後の取り組み

従来 of 行事と共に、外部講師の招聘も計画し、豊かな心で地域の方々との交流促進に努める。

アクションプラン	具体的テーマ	目 標(具体的施策)			
		現 状	28年度	29・30年度	31・32年度
あらゆる差別をなくして地域社会を明るく	人権を尊重するまち	各種行事 ・薬物撲滅運動 ・各種講演会参加	館内 ポスター展 発展的継続	➡ ➡	➡ ➡
	男女共同参画を实践するまち	各種行事 ・出前講座 ・各種講演会参加	外部講師招聘 発展的継続	➡ ➡	➡ ➡



ポスター展(城西まつり)



出前講座の案内ポスター
(男女共同参画セミナー)



同和問題週間市民のつどい

【体育部会実行計画】

運動やスポーツで育む 「豊かな心」と「元気な身体」

体育部会では地域住民が健康でいきいきと活力あふれるまちづくりを目指し、文化活動やスポーツレクリエーション活動に参加して、人と人との交流と健康づくりを目的に各種競技大会に参加するなどの活動をしている。

また、次代を担う子ども達に親子のふれあいや自然に親しむ野外活動などを通して「仲間・絆づくり」「健康な体力づくり」「青少年健全育成」「生活の質の向上」「豊かな心で地域の方々との交流」「美容・リフレッシュ」などを推進していく。

1 健康づくりを目指して



チャレンジデー

(1) 現 状

コミュニティ組織の構成団体の一つである体協城西支部の協力を得ながら、地域の自治会やセンター利用者、一般市民を対象に行うチャレンジデーに参加し、健康づくりの一環としている。また、体協主催の各種競技大会に参加しスポーツの普及と健康増進を促進させている。

(2) 今後の取り組み

チャレンジデーへの参加を地域自治会に積極的に働きかけ地域交流と健康増進を図りたい。また、体協の各種競技大会への参加や、ファミリーウォーキングで地域内外との交流を図り「生きがい」と「絆・仲間づくり」を促進させる。

2 青少年の健全育成を目指して

(1) 現 状

地域の小学校の親子のふれあいと、豊かな心で地域の方々との交流を目的にした、「城西まつり」を城西小学校PTAとコミュニティ共催で実施している。その「城西まつり」は回を重ねること28回目となり地域に定着している。また自然に親しむ野外活動として「月見の会」も城西小学校PTAと合同で丸亀城三の丸広場にて実施している。

(2) 今後の取り組み

次代を担う子ども達に夢と希望、仲間・絆づくり、豊かな心で地域の方々との交流促進に努める。

アクションプラン	具体的テーマ	目 標(具体的施策)			
		現 状	28年度	29・30年度	31・32年度
運動やスポーツで育む豊かな心と元気な身体	健康づくりを目指して	各種行事 ・チャレンジデー ・バスハイク ・体協球技大会 ・ペタンク大会	発展的継続 発展的継続 発展的継続 発展的継続 ファミリーウォーキング	➡ ➡ ➡ ➡ ➡	➡ ➡ ➡ ➡ ➡
	青少年の健全育成を目指して	各種行事 ・月見の会 ・城西まつり	発展的継続 発展的継続	➡ ➡	➡ ➡



健康体操教室



バスハイク (モネの庭・高知県)



ペタンク大会

【子ども部会実行計画】

子ども達が楽しく、 安全に過ごせるまちに向かって

子ども部会では地域の方々と協力しながら、子ども達が楽しく健全に成長できるよう行事や研修会を実施している。

また、地域の方々とふれあう機会を持つことで交流促進を支援し、子ども達の見守りにつなげていけるよう努力していく。

1 子ども達が楽しく活動できるまち

(1) 現状

ア 城西小学校の6年生を対象に1泊2日のキャンプを実施し、子ども達が自発的に楽しめる行事となるよう援助をしている。

イ 月見の会など地域の方々と楽しく交流する機会を持っている。

ウ コミュニティ行事に積極的に参加、協力している。



丸亀城内でミニキャンプ（城西小6年生対象）

(2) 今後の取り組み

従来行事を発展的継続し、明るく楽しい地域社会にする。

2 子ども達が安全に過ごせるまち

(1) 現状

子ども達の安全を保持するため、青少年健全育成研修会を開催し、現状の把握と対策を協議している。

(2) 今後の取り組み

ア 従来行事を発展的継続し、地域の方々との協力体制を作っていく。

イ 今後、ボランティアなどの協力を得て、下校時などの見守りを強化していく。

アクションプラン	具体的テーマ	目 標(具体的施策)			
		現 状	28年度	29・30年度	31・32年度
子ども達が楽しく、安全に過ごせるまちに向かって	子ども達が楽しく過ごせるまち	各種行事 ・ミニキャンプ ・月見の会 ・城西まつり	発展的継続 " "	→ → →	→ → →
	子ども達が安全に過ごせるまち	各種行事 ・青少年健全育成 研修会の開催	発展的継続	→ 下校時の見 守り強化	→ →



青少年健全育成研修会



城西小マーチングバンド（城西まつり）



月見の会(丸亀城三の丸)

第3章 計画策定資料など

1 策定までの経過

平成27年	7月16日	天守閣のある町城西 役員会において計画策定委員会発足及び策定委員会メンバーの承認
平成27年	8月5日	第1回策定委員会において、計画策定方針を決定
平成27年	8月7日 ～ 28日	各部会において、現状と今後の取り組み及びまちづくり実行計画の協議
平成27年	9月3日	第2回策定委員会において、第1章「城西地区の概要」報告と第2章「まちづくり計画」の各部会の実行計画について、各部会長より提案及び協議
平成27年	9月29日	役員及び各部会長による特別委員会において、城西地区の概要と各部会の実行計画について 調整及び修正の協議
平成27年	10月1日	第3回策定委員会において、「歴史と文化を尊ぶ町城西まちづくり計画」の修正案の提示とその承認
平成27年	10月9日	刷製本業者を入札により決定し、日程等協議
平成27年	11月12日	天守閣のある町城西 役員会において、「歴史と文化を尊ぶ町城西まちづくり計画」の決定
平成27年	12月15日	最終校正を経て印刷製本完了
平成27年	12月17日	役員会において「まちづくり計画書」を配布

2 参考文献

新編丸亀市史	丸亀市史編纂委員会 編集
城西百年の歩み	丸亀市立城西小学校創立百周年記念事業実行委員会 編集
丸亀市統計書	丸亀市 編集

天守閣のある町城西まちづくり計画策定委員会名簿

氏 名	所 属	役 職
岡田 宣明	天守閣のある町城西	会 長
大岡 經一	同 上	副会長
秋山 富雄	同 上	副会長
角野 昭二郎	同 上	副会長
窪田 勝	同 上	副会長
吉田 キミ子	同 上	副会長
宮本 喜美代	同 上	副会長
島田 修平	同 上	副会長
高畑 由紀雄	同 上	監 査
篠塚 智枝子	同 上	監 査
大倉 節子	同 上	会 計
内田 千鶴	同 上 保健部会	部会長
佐野 健	同 上 文化部会	部会長
鎌田 義弘	同 上 体育部会	部会長
米丸 貢	同 上 子ども部会	部会長
白川 昌宏	城西地区民生委員児童委員協議会	会長
秋山 ともえ	城西母子愛育班	班長
宮川 文子	城西地区福祉ママ	会長
宮脇 雅代	城西地区更生保護女性会	支部長
白井 雅夫	農人町自治会	会長 (天守閣のある町城西 理事)
宮脇 隆	中府餌指町自治会	会長 (天守閣のある町城西 理事)
大西 俊郎	城南町桜自治会	会長 (天守閣のある町城西 理事)
片山 昭	有識者	(天守閣のある町城西 評議員)
草薙 雅昭	消防団第2分団	分団長
香川 義英	城西小学校PTA	会長
鎌谷 敦之	城西小学校	校長
小西 長之助	有識者 (写真作家)	
角野 五月	天守閣のある町城西	文化部会
目見田美和子	同 上	文化部会
柚木 亜紀	同 上	文化部会
三宅 恵	同 上	文化部会
平下 洋子	同 上	子ども部会
石川 真司	丸亀市地域担当職員	まちづくり担当
林 弘樹	〃 地域担当職員	防災担当
坪倉 里美	〃 地域担当職員	保健担当
太田 義光	天守閣のある町城西	事務局 (コミュニティセンター所長)
中島 陽子	天守閣のある町城西	書 記 (コミュニティセンター職員)



歴史と文化を尊ぶ町城西
まちづくり計画

発行 平成27年12月

発行者 天守閣のある町城西

編集 まちづくり計画策定委員会

香川県丸亀市山北町722-1

城西コミュニティセンター内

TEL・FAX 0877-25-2266
